

The 15th JUACEP Seminar

第15回名古屋大学日米協働教育プログラムセミナー

‘グローバル化時代の アメリカ理工系大学院留学’ ～日本語・理工系一般の学生対象～

講師：倉林活夫 教授

ミシガン大学工学部機械工学科
電気工学・コンピューターサイエンス科

略歴：米国ミシガン大工学部学機械工学および電気工学・コンピューターサイエンス科准教授。1992年東京大学工学部精密工学科卒。1994年にスタンフォード大学材料科学部修士号、1998年に同大学 Ph.D. 取得。その後スタンフォード大学研究員を経て、2000年1月より、ミシガン大学助教授に赴任。現在の研究テーマは、生体・医療・環境分野の先端計測マイクロ・ナノデバイス及びナノプラズモニックバイオセンサーの開発と基礎研究。こうした研究分野で5つの米国特許取得と100本以上の論文・著書執筆。2001年米国科学財団（NSF）Early Faculty Career Development（GAREER）賞、2005年ロバート・キャデル記念賞、2007年 Pi Tau Sigma 最優秀教授賞、2013 ミシガン大学機械工学最優秀研究達成賞受賞。

日時： 2014年5月15日（木）13:00～14:30

場所： ES033 講義室（ES 総合館）

講演概要：「グローバル化」、この言葉は近年多くの分野で耳にします。世界はITや物流技術の発達により、ますますフラット化し、資本は次の有望なマーケットを狙い世界を駆け巡ります。こうした状況の中、国外の大学ではグローバル化の波を受け、人材の世界的流動が始まっています。これからの皆さんの将来のキャリアを考えたときに、世界で通用し、活躍する理系人材になるにはどうすれば良いでしょうか。その選択肢の一つとして、学生の皆さんに米国大学院留学をお勧めします。このセミナーは、私個人のスタンフォード大学留学の経験と、ミシガン大学で教鞭を執っている経験から、米国の大学院での学位取得と将来のキャリアパスなどをお話します。また学生の皆さんからの留学に関するフランクな質問に対してもお答えします。

問合せ： 工学研究科 世界展開力強化事業事務局（内 2799）

Japan-US Advanced Collaborative Education Program, Graduate School of Engineering
（工学研究科 大学の世界展開力強化事業）